

WHO ファクトシート

アルコール

Alcohol

ファクトシート No. 349

2015 年 7 月

重要な事実(注 1)

- ・全世界で、アルコールの過剰摂取の結果、毎年 330 万人が死亡しており、これは全死亡の 5.9%に当る。(注 2)
- ・アルコールの過剰摂取は 200 以上の疾病や傷害の原因因子である。
- ・障害調整生存年数(DALY)で判定すると、世界の疾病及び傷害負荷全体の 5.1%がアルコールに起因するものである。(注 3)
- ・アルコール摂取は、比較的若年期の死亡や障害の原因となる。20~39 歳年齢層の全死亡の約 25%はアルコールに起因するものである。
- ・アルコールの過剰摂取と精神的行動的障害、他の非感染性疾病、さらには傷害との間には因果関係がある。
- ・最近では過剰飲酒と結核や HIV エイズのような感染症の発症との間にも因果関係が認められるようになっている。
- ・健康への影響だけでなく、アルコールの過剰摂取は、個人や広くは社会に重大な社会的経済的な損失をもたらす。

(注)

- (1) アルコールと健康に関する世界の状況報告書 2014 (Global status report on alcohol and health 2014) に基づく。
- (2) グローバル戦略は、どのようなものであれ宗教的信仰や文化的規範の権利を侵すものではなく、アルコール摂取の公衆衛生上の影響について適用するものである。この文脈

での「アルコールの過剰摂取」の概念は、精神的行動的障害に関する ICD-10 疾病分類 (WHO、1992) の診断カテゴリーの「アルコールの過剰摂取」とは異なる。

- (3) 障害調整生存年数(DALY)は、早死により失われた潜在的生存年数に、不健康や障害の状態のために失われた「健康的」生命年数相当を含めて概念を拡張したものである。

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014 年 3 月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Alcohol ファクトシート原文は [こちら](#)